

## 平成29年度版 改善計画

学校名：盲学校

| No. | 項目        | 現状と課題  | H30年度に目指すべき状態               | ①H29年度に実施する内容 ②H30年度に向けて検討する内容   | 達成状況 |
|-----|-----------|--|-----------------------------|--|------|
| 1   | 会議等の効率化   | 職員会議では各自がハイユースPCを使って資料を見たり、メールを使って連絡を全校配信するなど効率化に努めているが、他の会議も多く、時間もかかっている。 | H29年度よりも会議の回数や所要時間を減らす      | ①連絡や提案の簡略化・効率化、多忙化解消検討委員会での検討<br>②職員会議以外の諸会議の合理化・効率化                         |      |
| 2   | 学校行事の負担軽減 | 学園祭、各学部主催行事以外に地域や周辺の学校等との交流活動など1年を通して数多く行っている。                             | H29年度よりも内容的にも精選された学校行事を実施する | ①学校行事の効率化<br>②行事検討委員会を通じての学校行事の統合・効率化  |      |
| 3   | 校内組織の見直し  | 幼稚部から高等部専攻科まで4学部、11分掌で3歳児から成人までの教育に当たっている。1人が複数の分掌を担当したり、分掌数がやや多い。         | H29年度よりも分掌が整理し、業務内容も精選する    | ①分掌業務の精選、見直し検討<br>②分掌の整理、担当者数の検討   |      |
| 4   | 業務の効率化    | 文書の收受、発送、処理は学校を挙げて、情報の共有化・システム化に取り組んでいる。1人あたりの授業持ち時間が必ずしも均一ではない。           | H29年度よりも退庁時間を早くする           | ①業務の優先順位を明確にして、各自の時間マネジメントをしっかりとる<br>②更なる情報の共有化・システム化の研究<br>補講等で学部を越えた担当制の研究 |      |
| 5   | 部活動の負担軽減  |  |                             |  |      |
| 6   | 地域人材の活用   | 学校行事や自立活動で地域の方々にお世話になっている。   | H29年度より多くの地域人材が活躍している       | ①自立活動、総合的な学習の時間等で活用可能な人材の発掘に努める<br>②外部講師、ボランティアの積極的な活用                       |      |

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた    B ある程度は達成できた    C あまり達成できなかった    D 達成できなかった